

平成29年度全国学力・学習状況調査結果

南相馬市立原町第三小学校

1 実施日 平成29年4月18日(火)

2 調査対象 第6学年児童 57名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語A・国語B、算数A・算数B)

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

○国語A 問題数15問 調査時間20分間 国語B 問題数9問 調査時間40分間

○算数A 問題数15問 調査時間20分間 算数B 問題数11問 調査時間40分間

※ 問題形式は国語、算数とも選択式、短答式、記述式の3種類

(2) 生活習慣や学習環境等に関する調査(質問数:92事項)

4 調査結果

(1) 各教科の平均正答率・全国との比較

国語A並びに国語Bとも、おおむね全国平均と同程度でした。

算数A並びに算数Bとも、おおむね全国平均と同程度でした。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する調査 (抜粋)

① 成果が見られた項目

※ 数字は本校児童回答(%) ()内数字は全国回答(%)

質 問 事 項	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる
放課後に何をして過ごすことが多いですか。	家で勉強や読書 75.4 (60.9)	家で勉強や読書 3.5 (6.2)
家で学校の授業の復習をしていますか。	40.4 (23.6)	35.1 (30.2)
先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか。	59.6 (47.3)	35.1 (38.7)
先生は、分かるまで教えてくれますか。	64.9 (50.5)	31.6 (34.6)
読書は好きですか。	57.9 (49.0)	21.1 (25.3)
算数の勉強は好きですか。	50.9 (38.5)	22.8 (27.4)

② 課題が見られた項目

質 問 事 項	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる
自分には、よいところがあると思いますか。	19.3 (38.6)	45.6 (39.3)
親と学校での出来事について話をしますか。	40.4 (50.6)	29.8 (27.5)
親と将来のことについて話すことがありますか。	5.3 (15.1)	31.6 (35.3)
国語の学習は、将来社会に出た時に役立つと思いますか。	40.4 (55.7)	47.4 (32.2)
算数の学習は、将来社会に出た時に役立つと思いますか。	49.1 (66.7)	40.4 (22.4)

5 学力向上の取り組み

国語科、算数科ともに活用力に関する問題に課題が見られました。課題が見られた設問の概要は次の通りです。

(1) 国語科

- 折り紙の魅力について、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く。[1] (3)
- 「緑のカーテン作りへの協力をお願い」における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する。[2] (1)

(2) 算数科

- 13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く。[2] (2)
- 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める。[3] (1)

(3) 授業改善のポイント

- ①国語科 自分の考えを明確に伝えるために、目的や意図に応じて文章全体の構成を工夫する必要性のある文章を書く活動の設定
- ②算数科 問題解決のために示された方法を解釈し、その方法を問題場面に応じて適用する活動の設定

6 保護者・地域の皆様へ

子どもたちの学習環境や生活環境づくりについて、次の点で保護者や地域の方々のご協力をお願いいたします。

(1) 家庭学習について

- 家庭で、子どもが落ち着いて学習できる場と時間を確保する。
- 子どもが学ぶ姿を保護者が見て、認め、褒める。

(2) 読書について

- 家庭で本が読める環境づくりをする。○学校図書館や市立図書館を活用し、多くの本に接する。

(3) 家族・地域社会との関わりについて

- テレビやゲーム、スマホなどの時間を少なくし、家族とのふれあいや会話を大切にする。
- 地域での行事への参加などから、地域や郷土のよさや人々のつながりの大切さを学ぶ。